

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふれあいの杜Kids		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援(1対1)を基本としている	個々に課題に取り組む際は集中しやすいようにパーテーションを使用し運動や製作等の集団活動時にはパーテーションを取り外し部屋全体を使えるように工夫している。	基本的に2階の1部屋を活用して支援しているが、午前中使用していない放課後等デイサービスの支援室や生活介護の利用の兼ね合いを確認しながら多目的室の活用など施設内のスペースをフル活用していく
2	毎月定例のミーティングを行っている	レクの内容や日々の問題点、気になる点等、すり合わせをしている	職員間、情報共有の時間をみつけて問題点等、話し合いの時間を作り、支援の質をあげる
3	ABA(応用行動分析学)療法を取り入れている	子どもたちの行動の前後にどのような行動が見られたのか分析しながら支援している	強化子などを活用して良い行動を増やしていく。また痲痺や不穏な行動は愛ある無視を活用して減らしていく。どんな支援が必要でその児童にとって安心、満足するものか常に想像しながら支援にあたる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	午後からの支援が難しい	午後からは放課後等デイサービスの支援にあたるため、サービス提供が難しい	長期休み(夏休みや冬休み等)などに支援できる枠があるが単発の利用になることや、基本的に送迎サービスがない為、希望者が少ないのが実情。就学前の児童については卒園から入学式までの春休みに放デイに向けた支援を実施している。
2	地域に開かれた事業運営を図れていない	日々の支援に追われ事業所の行事に招待することは難しい	保護者会など年に一度のイベントと合わせて近隣の方を招待して事業運営できる内容を考えていきたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ふれあいの杜Kids					公表日	2026年 3月 23日				
					利用児童数	9名		回収数	6名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4			2	見学時も2階のお部屋をちゃんと見られていなかった為わかりません。	保護者会や面談時に施設のご案内をするようにします。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1			一階はそういますが2階がわからない。				
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5			1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5			1					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6								
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1		2					
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			3					
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5			1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2			4	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふれあいの杜Kids		公表日		2026年 3月 23日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個々に課題に取り組み際は集中しやすいようにパーティションを使用し運動や製作等の集団活動時にはパーティションを取り外し部屋全体を使えるように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		1対1での支援を基本としています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		靴箱、各机、荷物を置く棚にはわかりやすい顔写真をつけて子どもたちが認識しやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		使用後は必ず掃除機、アルコール消毒を徹底している。課題取り組み時、体操、製作など活動に合わせて部屋の中での配置を変えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	不穏な状態になった時は、療育の部屋から一旦でて、クールダウン。気持ちに寄り添った支援するように心掛けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		毎月定例のミーティングを行いレクの内容や日々の問題点、気になる点等、すり合わせしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		評価表は職員間で回覧し意向等、把握するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		都度、意見等は言えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価はできていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	外部研修開催等はグループLINEや、口頭で知らせてもらっている。社内での勉強会は不定期で行っている。	対面での勉強会の他にオンラインで法定研修を視聴できるようにしている。常に皆が研修できる環境を準備するようにしている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		月ごとのレクリエーションの予定表や連絡帳にて保護者に伝えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		年2回保護者との面談を行い作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援員は日々の気付き等、記録しており、アセスメント作成する際参考にしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援計画はファイリングされており、共有できている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		月初めに、2か月後に行うレクリエーションの内容、製作立案等、チームで話し合い、決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		SNS情報や専門書を参考にしながら、楽しく活動してもらうよう工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		利用人数によっては集団活動が出来ない日もある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		フロアリーダー制をとっており、その日の活動、支援内容を把握し役割分担を考えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		記録とともに振り返りができている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		連絡帳に記録しモニタリングや振り返りの際、活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年2回実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		関係機関として河合診療所がある。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			5	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			5	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			連絡帳やLINE等で、都度日々の活動の様子を伝えている。 送迎時に直接、その日の様子などを伝えるようにしている。その際に発達状況など確認したり現時点での課題等の話もできるように努める
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		保護者会として年一回開催している。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1			
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		件数は少ないがインスタグラムを活用し活動の様子を発信している。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	事業所の行事に招待することは難しいが地域の行事に参加させてもらうことはある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	すべての委員会を設置しており、毎年、避難訓練、虐待防止、安全計画、身体拘束やBCPなど研修と訓練を行っている。	保護者会などで発信したりしてはいるが利用者家族全体への周知が徹底されていない部分もあるのでその辺りの周知を積極的に行っていく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	保護者からの説明を聞いたうえで対応できている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	保護者からの説明を聞いたうえで対応できている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			